2027（令和9）年度　理工学部社会基盤デザイン工学科　学位授与方針対応表及び教育課程編成方針対応表

TC

凡例

色	学年
	1
	2
	3
	4

部門（教養・専門）	領域	授業科目	ナンバリング構成					学位授与方針			教育課程編成方針				備考
			学部・学科	学年	部門（教養・専門）	領域	科目番号	人類ならびに社会の文化的・歴史的視点に立った多様な価値観と技術者としての倫理観、および他者を理解しながら協調して計画的に仕事を進めることのできる能力を有する。	自然科学の基礎知識ならびに応用能力、および専門主要分野における基礎知識と応用知識を有する。	専門技能とその応用能力と、課題を設定し、専門知識を総合化し、社会変化と新たな技術に対応した解決策を自ら模索して提案できる能力、および専門技術者に必要なコミュニケーション能力を有する。	①教養教育は、外国語、体育科学、人文科学、社会科学等の教養科目と数学、物理学、化学、技術者倫理等の理工学基礎科目により編成している。これらの科目を学ぶことにより、多様な価値観と技術者としての倫理観を養うとともに、自然科学の基礎と応用能力を育成する。	②専門教育は、主要分野の基礎から応用までの科目で体系的に編成している。講義科目に加えて、関連する演習・実験・実習科目を適切に配置することにより、基礎から応用までの専門知識の修得を確実にするとともに、専門技能とその応用能力を育成し、また、専門分野の現象理解が深められるようにする。	③教養教育で能動的学修の要素を取り入れた教育を用意する。専門教育では動機付けの教育を行うとともに、演習・実験・実習科目に能動的学修の要素を取り入れて、自己学修能力を育む。測量学実習などのグループで取り組む科目によって、協調性や他者との相互理解力も養う。4年次で行う卒業研究では、高度なコミュニケーション能力を養うとともに、知識を総合化した創造的思考力と問題解決能力を育成する。	④シラバスに示した内容に基づいて厳格に成績評価して単位認定する。学生個別の成績表にもそれを記載して学修指導や各種順位づけに利用できるようにする。成績や学修態度を総合的に判断して個別指導できる教育支援システムを整備し、学生が各自の達成度と将来計画に応じた学修を進めることができるようにする。	
総合基礎部門	理工学基礎科目	英語コミュニケーションⅠ	TC	1	0	0	01			◎	◎			◎	
		英語コミュニケーションⅡ	TC	1	0	0	02			◎	◎			◎	
		英語コミュニケーションⅢ	TC	2	0	0	01			◎	◎			◎	
		英語コミュニケーションⅣ	TC	2	0	0	02			◎	◎			◎	
		プラクティカル･イングリッシュⅠ	TC	3	0	0	01			◎	◎			◎	
		プラクティカル･イングリッシュⅡ	TC	3	0	0	02			◎	◎			◎	
		ドイツ語Ⅰ	TC	1	0	0	03			◎	◎			◎	
		ドイツ語Ⅱ	TC	1	0	0	04			◎	◎			◎	
		ドイツ語Ⅲ	TC	2	0	0	03			◎	◎			◎	
		ドイツ語Ⅳ	TC	2	0	0	04			◎	◎			◎	
		フランス語Ⅰ	TC	1	0	0	05			◎	◎			◎	
		フランス語Ⅱ	TC	1	0	0	06			◎	◎			◎	
		フランス語Ⅲ	TC	2	0	0	05			◎	◎			◎	
		フランス語Ⅳ	TC	2	0	0	06			◎	◎			◎	
		中国語Ⅰ	TC	1	0	0	07			◎	◎			◎	
		中国語Ⅱ	TC	1	0	0	08			◎	◎			◎	
		中国語Ⅲ	TC	2	0	0	07			◎	◎			◎	
		中国語Ⅳ	TC	2	0	0	08			◎	◎			◎	
		体育科学Ⅰ	TC	1	0	0	09	◎			◎			◎	
		体育科学Ⅱ	TC	1	0	0	10	◎			◎			◎	
		体育科学Ⅲ	TC	2	0	0	09	◎			◎			◎	
		体育科学Ⅳ	TC	2	0	0	10	◎			◎			◎	
		人文科学基礎Ⅰ	TC	1	0	0	11	◎			◎			◎	
		人文科学基礎Ⅱ	TC	1	0	0	12	◎			◎			◎	
		社会科学基礎Ⅰ	TC	1	0	0	13	◎			◎			◎	
		社会科学基礎Ⅱ	TC	1	0	0	14	◎			◎			◎	
		アジア文化論Ⅰ	TC	2	0	0	11	◎			◎			◎	
		アジア文化論Ⅱ	TC	2	0	0	12	◎			◎			◎	
		欧米文化論Ⅰ	TC	2	0	0	13	◎			◎			◎	
		欧米文化論Ⅱ	TC	2	0	0	14	◎			◎			◎	
		国際関係論	TC	3	0	0	03	◎			◎			◎	
		文学	TC	3	0	0	04	◎			◎			◎	
		日本国憲法	TC	3	0	0	05	◎			◎			◎	
		国際経済論	TC	3	0	0	06	◎			◎			◎	
		心理学	TC	3	0	0	07	◎			◎			◎	
		基礎ゼミナールⅠ	TC	1	0	0	15	◎			◎			◎	
		基礎ゼミナールⅡ	TC	1	0	0	16	◎			◎			◎	
		職業指導論	TC	3	0	0	08	◎			◎			◎	
		微分積分Ⅰ	TC	1	1	0	01		◎		◎			◎	
		微分積分Ⅱ	TC	1	1	0	02		◎		◎			◎	
		線形代数Ⅰ	TC	1	1	0	03		◎		◎			◎	
		線形代数Ⅱ	TC	1	1	0	04		◎		◎			◎	
		物理学Ⅰ	TC	1	1	0	05		◎		◎			◎	
		物理学Ⅱ	TC	1	1	0	06		◎		◎			◎	
		物理学演習	TC	1	1	0	07		◎		◎			◎	
		物理学実験Ⅰ	TC	1	1	0	08		◎		◎			◎	
		物理学実験Ⅱ	TC	1	1	0	09		◎		◎			◎	
		化学Ⅰ	TC	1	1	0	10		◎		◎			◎	
		化学Ⅱ	TC	1	1	0	11		◎		◎			◎	
		化学実験Ⅰ	TC	1	1	0	12		◎		◎			◎	
		化学実験Ⅱ	TC	1	1	0	13		◎		◎			◎	
		地学Ⅰ	TC	2	1	0	01		◎		◎			◎	
		地学Ⅱ	TC	2	1	0	02		◎		◎			◎	
		地学実験Ⅰ	TC	3	1	0	01		◎		◎			◎	
		地学実験Ⅱ	TC	3	1	0	02		◎		◎			◎	
		生物学	TC	1	1	0	14		◎		◎			◎	
		生物学実験	TC	2	1	0	03		◎		◎			◎	
		理工学概論	TC	1	1	0	15	◎			◎			◎	
		技術者倫理	TC	2	1	0	04	◎			◎			◎	
		コンピューターリテラシー	TC	1	1	0	16		◎		◎			◎	
		データサイエンス・AI入門	TC	1	1	0	17		◎		◎			◎	
		数学基礎演習Ⅰ	TC	1	1	0	18		◎		◎			◎	
		数学基礎演習Ⅱ	TC	1	1	0	19		◎		◎			◎	
		物理学基礎演習Ⅰ	TC	1	1	0	20		◎		◎			◎	
		物理学基礎演習Ⅱ	TC	1	1	0	21		◎		◎			◎	
		化学基礎演習Ⅰ	TC	1	1	0	22		◎		◎			◎	
		化学基礎演習Ⅱ	TC	1	1	0	23		◎		◎			◎	
		英語基礎演習Ⅰ	TC	1	1	0	24			◎	◎			◎	
		英語基礎演習Ⅱ	TC	1	1	0	25			◎	◎			◎	
専門教育部門	専門基礎科目群	応用数学Ⅰ	TC	2	1	1	01		◎			◎		◎	
		応用数学Ⅱ	TC	2	1	1	02		◎			◎		◎	
		数理統計学	TC	2	1	1	03		◎			◎		◎	
		力学基礎	TC	1	1	1	01		◎			◎		◎	
		材料力学	TC	1	1	1	02		◎			◎		◎	
		プログラミング基礎演習	TC	1	1	1	03		◎			◎		◎	
		構造力学Ⅰ	TC	2	1	1	04		◎			◎		◎	
		構造力学Ⅱ	TC	2	1	1	05		◎			◎		◎	
		構造力学Ⅲ	TC	3	1	1	01		◎			◎		◎	
		水理学Ⅰ	TC	2	1	1	06		◎			◎		◎	
		水理学Ⅱ	TC	2	1	1	07		◎			◎		◎	
		水理学Ⅲ	TC	3	1	1	02		◎			◎		◎	
		土質力学Ⅰ	TC	2	1	1	08		◎			◎		◎	
		土質力学Ⅱ	TC	2	1	1	09		◎			◎		◎	
		土質力学Ⅲ	TC	3	1	1	03		◎			◎		◎	
		都市デザイン学	TC	2	1	1	10		◎			◎		◎	
		都市・国土制度論	TC	2	1	1	11		◎			◎		◎	
		社会基盤計画学Ⅰ	TC	2	1	1	12		◎			◎		◎	

部門（教養・専門）	領域	授業科目	ナンバリング構成					学位授与方針			教育課程編成方針				備考
			学部・学科	学年	部門（教養・専門）	領域	科目番号	人類ならびに社会の文化的・歴史的視点に立った多様な価値観と技術者としての倫理観、および他者を理解しながら協調して計画的に仕事を進めることのできる能力を有する。	自然科学の基礎知識ならびに応用能力、および専門主要分野における基礎知識と応用知識を有する。	専門技能とその応用能力と、課題を設定し、専門知識を総合化し、社会変化と新たな技術に対応した解決策を自ら模索して提案できる能力、および専門技術者に必要なコミュニケーション能力を有する。	①教養教育は、外国語、体育科学、人文科学、社会科学等の教養科目と数学、物理学、化学、技術者倫理等の理工学基礎科目により編成している。これらの科目を学ぶことにより、多様な価値観と技術者としての倫理観を養うとともに、自然科学の基礎と応用能力を育成する。	②専門教育は、主要分野の基礎から応用までの科目で体系的に編成している。講義科目に加えて、関連する演習・実験・実習科目を適切に配置することにより、基礎から応用までの専門知識の修得を確実にするとともに、専門技能とその応用能力を育成し、また、専門分野の現象理解が深められるようにする。	③教養教育で能動的学修の要素を取り入れた教育を用意する。専門教育では動機付けの教育を行うとともに、演習・実験・実習科目に能動的学修の要素を取り入れて、自己学修能力を育む。測量学実習などのグループで取り組む科目によって、協調性や他者との相互理解力も養う。4年次で行う卒業研究では、高度なコミュニケーション能力を養うとともに、知識を総合化した創造的思考力と問題解決能力を育成する。	④シラバスに示した内容に基づいて厳格に成績評価して単位認定する。学生個別の成績表にもそれを記載して学修指導や各種順位づけに利用できるようにする。成績や学修態度を総合的に判断して個別指導できる教育支援システムを整備し、学生が各自の達成度と将来計画に応じた学修を進めることができるようにする。	
		社会基盤計画学Ⅱ	TC	3	1	1	04		◎			◎		◎	
		建設材料学	TC	2	1	1	13		◎			◎		◎	
		測量学	TC	1	1	1	04			◎		◎		◎	
		測量学実習Ⅰ	TC	2	1	1	14	◎		○			◎	◎	
		測量学実習Ⅱ	TC	2	1	1	15	◎		○			◎	◎	
		ＧＩＳ・ＣＩＭ実習	TC	4	1	1	01			◎		◎		◎	
		デザイン学入門	TC	1	1	1	05	◎				◎		◎	
		デザイン技法	TC	1	1	1	06			◎		◎		◎	
		図学・ＣＡＤ演習	TC	2	1	1	16			◎		◎		◎	
		社会基盤デザインセミナーⅠ	TC	1	1	1	07			◎		◎		◎	
		社会プロジェクト特別講義	TC	2	1	1	17	◎				◎		◎	
		科学技術英語	TC	3	1	1	05			◎		◎		◎	
	計画・マネジメント系科目群	交通デザイン学	TC	3	1	2	01		◎			◎		◎	
		都市解析学	TC	3	1	2	02		◎			◎		◎	
		まちづくり実習	TC	3	1	2	03		○	◎		◎		◎	
		都市経済学	TC	3	1	2	04		◎			◎		◎	
		プロジェクトマネジメント	TC	4	1	2	01	◎				◎		◎	
	設計・施工系科目群	土質・材料試験法	TC	3	1	3	01			◎		◎		◎	
		構造・水理実験演習	TC	3	1	3	02			◎		◎		◎	
		鋼構造学	TC	3	1	3	03		◎			◎		◎	
		コンクリート構造学	TC	3	1	3	04		◎			◎		◎	
		建設施工法	TC	3	1	3	05		◎			◎		◎	
		施設維持管理論	TC	4	1	3	01		◎			◎		◎	
	防災・環境系科目群	都市安全学	TC	2	1	4	01		◎			◎		◎	
		水文・水資源工学	TC	2	1	4	02		◎			◎		◎	
		河川工学	TC	3	1	4	01		◎			◎		◎	
		地盤防災工学	TC	3	1	4	02		◎			◎		◎	
		地圏環境工学	TC	3	1	4	03		◎			◎		◎	
		海域工学	TC	3	1	4	04		◎			◎		◎	
		水域環境工学	TC	3	1	4	05		◎			◎		◎	
		耐震工学	TC	4	1	4	01		◎			◎		◎	
	専門総合科目群	社会基盤デザインセミナーⅡ	TC	3	1	5	01	◎		○			◎	◎	
		キャリアデザイン	TC	3	1	5	02	◎		○			◎	◎	
		グローバルインターンシップ	TC	3	1	5	03	○		◎		◎		◎	
		社会基盤デザイン総合演習Ⅰ	TC	3	1	5	04		◎	○		◎		◎	
		社会基盤デザイン総合演習Ⅱ	TC	3	1	5	05		◎			◎		◎	
		卒業研究	TC	4	1	5	01			◎			◎	◎	
	その他	データサイエンス・AI応用基礎Ⅰ	TC	1	2	0	01		◎		◎			◎	
		データサイエンス・AI応用基礎Ⅱ	TC	2	2	0	01		◎		◎			◎	